

# エコパーク通信

第50号

H28年9月号



エコパークにおける活動報告書のお知らせである本誌は、号を重ね9月号が記念すべき第50号となりました事を感謝申し上げます。

暑い夏を乗り切って実りの秋へと向かえば、大勢の子供達が訪れどんぐりなどと遊べる、楽しい体験学習の日々となることでしょう。

会員はじめ関わっていただいた皆様のおかげで、整備も順調に進んでいます。エコパークの植物、生き物も元気で私達に力をくれます。良き出会いを願い、これからも発展してゆくエコパークを宜しく願います。

エコパーク会長 山本 貴美枝



デュランタ



タマスダレ



ヒガンバナ（マンジュシャゲ）  
9月20日以降が見頃です

## 遠い昔の思い出（エコパークの辺り）

松井 棟雄



今から80年程前の昭和12年3月末頃、私の実家がある地頭方村遠渡「シャッチャ海岸」では、ワカメ採りが行われていました。

このワカメ採りの作業には、伝馬船が使用されていました。そこで、この伝馬船を借りるため、叔父や兄達と井戸沢のおじさんの家に出かけました。

井戸沢海岸から海岸沿いに伝馬船を漕いで、シャッチャ海岸へと進みました。その時海岸沿いに並んだ漁船は、のぼり旗が飾られ、又色とりどりの旗がなびいていました。

その日は、丁度駒形神社祭りの日だったのです。この時、伝馬船から眺めたたくさんの漁船のいた場所が、まさに今現在のエコパークの辺りになるのではないかと思います。

祭りに彩られた岸辺の船を見ながら、井戸沢からシャッチャ海岸まで船に乗って航海した過去の

記憶が、昨日の事のように思い出されます。



ベンケイソウ



カンナ



セイヨウアサガオ